

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 5 月 15 日現在

機関番号：10101

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25284065

研究課題名(和文)「乳房」の図像と記憶 中国・ロシア・日本の表象比較研究

研究課題名(英文) Images and Memories of "Breast": A Comparative Study of Representation in China, Russia, and Japan

研究代表者

武田 雅哉 (Takeda, Masaya)

北海道大学・文学研究科・教授

研究者番号：40216908

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 11,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、中国における「乳房」の表象を、中華圏・ロシア・日本の各地域における表象と比較し、非西欧圏・社会主義圏における「乳房」イメージの生成、交流、変遷について明らかにするものである。分析の中心となるのは、19世紀から20世紀にかけての画報(絵入り新聞)・連環画(絵物語)・ポスターなどの図像資料、および新聞記事や文学などの文字資料である。研究成果は、株式会社ワコールの主催する「乳房文化研究会」の定例研究会「アジアにおける乳房観 Part3～中国人女性の身体意識と文化・ファッション～」において発表したほか、書籍として刊行予定である。

研究成果の概要(英文)：This study aims to analyze the image of the breast in China, compared with those in Greater China, Russia, and Japan. The sources of this study are image materials such as pictorials (Huabao), comics (Lianhuanhua), posters and some written texts: newspapers and literary works. We presented a report titled "The Concept of the Breast in Asia" at a seminar of the Breast Res. Assoc. organized by Wacoal Corp. The final research results will be published in books.

研究分野：中国文学

キーワード：中国文学 表象

## 1. 研究開始当初の背景

本研究は、代表者武田の研究業績のうち、「中国乳房文化論ノート」(2009)によって初歩的な整理のなされた中国の「乳房」表象を、複数の領域の研究者が共同で、より学際的かつ多角的に考察するものである。

西欧社会における「乳房」表象については、ロミ『乳房の神話学』、マリリン・ヤーロム『乳房論 乳房をめぐる欲望の社会史』など、すでに一定の研究の蓄積がある。また我が国においても、若桑みどりの女性表象研究はジェンダー理論を用いた表象研究を牽引する役割を果たし、その後継として近年では『ひとはなぜ乳房を求めるのか 危機の時代のジェンダー表象』(2011)などの「乳房」表象研究がある。しかし、これらの研究はジェンダー理論に依拠して行なわれてきたため、理論そのものが脱構築されるような「乳房」表象を捨棄している可能性を免れない。

本研究ではまず、「乳房」は女性特有のものではない、という観点に立脚した。その上で、ジェンダーと「乳房」表象との関連を、「男性」やヒト以外の「動物」といった従来の研究では重点的に扱われてこなかった対象をも視野に入れて分析する。

また、これまでに専論の数少ない非西欧圏、社会主義圏の「乳房」表象を、中国を中心としながら、隣接地域である中華圏全域・ロシア・日本をも視野に入れて扱うところに本研究の最大の特徴がある。この三つの地域は、西欧に遅れて「国民国家」形成を経験し、西洋文化を受容したという共通の体験を持つ。そのプロセスは、三地域の「乳房」観にも影響を与えたと考えられる。

分析の中心は中国の「乳房」表象であり、代表者武田、分担者濱田・田村・加部がこれを行なう。分担者はそれぞれ、清代の文学(加部)、中華民国から中華人民共和国にかけての文学(濱田)、同時期の演劇(田村)における「女性」表象の形成や変遷について研究を行ってきた。武田・濱田・田村・加部のこれまでの研究により、中国においては、19世紀から20世紀にかけて新聞・雑誌・映画などによって西洋的な身体観がもたらされたことによる、「乳房」表象の転換期があったことが指摘できる。本研究では、この転換期の意味を、中華圏全域および世界的な同時代性の中で考察し、定位する作業を進めた。

ロシアのフォークロアおよび少女文化の研究を行なっている分担者越野は、社会主義国家として中国に影響を与えたロシア(ソビエト)の事例を検証した。また、日本の図像資料、とりわけ戦争画について研究の蓄積を持つ分担者向後は、日本の絵画に見られる「乳房」を分析した。

この研究体制により、中国・ロシア・日本の表象比較、さらには転換期の背景となる戦争の影響、三つの地域の「乳房」表象に求められた歴史的役割の変遷や同時代的共通点

の考察を試みる事が可能となる。

## 2. 研究の目的

本研究は、中国における「乳房」の表象を、中華圏(中国大陸以外の中国語圏)・ロシア・日本の各地域における表象と比較し、非西欧圏・社会主義圏における「乳房」イメージの生成、交流、変遷について明らかにするものである。

分析の中心となるのは、19世紀から20世紀にかけての画報(絵入り新聞)・連環画(絵入り物語)・ポスターなどの図像資料、および新聞記事や文学などの文字資料である。

戦争を背景とした「国民国家」形成の時代、外来の影響と自国の伝統の交錯する磁場の下で流通した「乳房」イメージを、「戦時プロパガンダ」、「女性表象」、「可視化/不可視化されるセクシュアリティ」など多様な視点から解読し、三地域間の歴史的記憶が構築されるシステムについても考察する。

## 3. 研究の方法

研究目的を達成するための主な研究計画・方法は以下の5点である。

- (1) 定例研究会の開催(年2回): 研究成果・研究情報の共有、資料閲覧、研究打ち合わせ。
- (2) 資料調査の実施: 中国・ロシア・日本における資料調査を行なう。
- (3) 資料のデータベース作成。
- (4) 関連論考の紙媒体・WEB上における発表。
- (5) 研究成果の刊行。

## 4. 研究成果

本研究の成果を、以下の5点に分けて述べる。

### (1) 定例研究会の開催

年2回の定例研究会を開催し、研究成果・研究情報の共有、資料閲覧、研究打ち合わせのほか、「乳房」表象関連の研究業績を持つ専門家を招き、講演と質疑応答を実施した。詳細は以下の通りである。

第一回: 2013年8月30日(北海道大学)

1. 2013年度研究構想発表(研究代表者・分担者・協力者全員)
2. 海外資料調査について打ち合わせ
3. 書籍紹介

第二回: 2014年2月1日(早稲田大学)

1. ゲストスピーカー講演  
実川元子氏(ライター、翻訳家)  
関村咲江氏(北海道大学文学修士)
2. 研究報告  
加部勇一郎(研究分担者)  
向後恵里子(研究分担者)
3. 中国調査報告  
武田雅哉(研究代表者)

#### 4.2014 年度活動予定打ち合わせ

第三回 :2014 年 9 月 15 日(北海道大学)

1. ゲストスピーカー講演  
松江崇氏(北海道大学大学院文学研究科准教授)・根岸美聡氏(北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院博士課程)・楊安娜氏(北海道大学大学院文学研究科博士後期課程)
2. 研究報告  
藤井得弘(研究協力者)  
田村容子(研究分担者)
3. チェコ調査報告  
武田雅哉(研究代表者)
4. 2014 年度活動予定打ち合わせ

第四回 :2015 年 2 月 16 日(沖縄県立芸術大学)

1. ゲストスピーカー講演  
尾形希和子氏(沖縄県立芸術大学美術工芸学部教授)  
大城さゆり氏(沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館非常勤学芸員)  
加藤志帆氏(沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科修士課程)
2. 研究報告  
越野剛(研究分担者)  
濱田麻矢(研究分担者)
3. 2015 年度活動予定打ち合わせ

第五回 :2015 年 8 月 29 日(北海道大学)

1. ゲストスピーカー講演  
妙木忍氏(北海道大学留学生センター特任助教)  
竹内美帆氏(京都精華大学大学院マンガ研究科博士課程)
2. 研究報告(研究代表者・分担者・協力者全員)
3. 2015 年度活動予定打ち合わせ

第六回 :2016 年 1 月 23 日(京都大学)

1. ゲストスピーカー講演  
田中貴子氏(甲南大学文学部教授)  
木村朗子氏(津田塾大学学芸学部教授)
2. 研究報告(研究代表者・分担者・協力者全員)
3. 研究成果出版計画打ち合わせ

#### (2) 資料調査の実施

平成 25 年度に、研究代表者・分担者・協力者で、中国(大連・旅順)を訪問し、戦争関連史跡を中心に、国内未所蔵資料の閲覧・撮影などの調査活動を行なった。

平成 26 年度に、研究代表者・分担者・協力者でロシア(ウラジオストク・ブラゴヴェシチェンスク)および中国(黒河・ハルビン)を訪問し、戦争関連史跡、身体表象に関する博物館における視察、また国内未所蔵資料の閲覧・撮影などの調査活動を行なった。

また、平成 25 年度から 27 年度にかけて、

研究代表者・分担者が日本における「乳神」信仰の関連施設を訪問し、視察・撮影を行なった。個別に行なった調査の内容は、定例研究会における口頭報告および共同研究の内部連絡誌に報告書を執筆する形で情報を共有した。

#### (3) 資料のデータベース作成

平成 25 年度から 27 年度にかけて、研究代表者武田の所蔵する連環画など中国の図像資料を中心に、資料のスキャン作業およびデジタルデータ化を進め、データベース構築のための基礎的作業を実施した。

その成果の一部として、学術研究誌『連環画研究』第 5 号(2016、北海道大学連環画研究会)を発行した。

#### (4) 関連論考の紙媒体・WEB 上における発表

平成 25 年度から 27 年度にかけて、研究代表者・分担者が、研究成果を論文・口頭報告・書籍などの形で発表した。その詳細は、「5. 主な発表論文等」を参照されたい。

本研究の代表的な成果として、研究代表者武田の「中国乳房文化論ノート」(共著『乳房の文化論』所収、淡交社、2014)、および研究代表者武田と分担者田村が口頭報告を行なった乳房文化研究会・定例研究会「アジアにおける乳房観 Part 3 ~中国人女性の身体意識と文化・ファッション~」(2015 年 10 月 24 日、株式会社ワコール京都本社)などが挙げられる。

これらは、いずれも株式会社ワコールが主催する「乳房文化研究会」と連携し、本研究の成果を広く社会に対して公開したものである。「乳房」というテーマを媒介に、医学・健康科学分野の研究者が多数所属する「乳房文化研究会」と、図像や文字資料を研究対象とする本研究との交流が、今後の人体表象に関する共同研究の可能性を切り開いたことの意義は大きいと考える。

#### (5) 研究成果の刊行

(1)から(4)までの本研究の成果は、書籍の形に整理し、一般書として出版する予定である。研究代表者・分担者・協力者および定例研究会に招いたゲストスピーカーが、口頭報告・質疑応答を経て情報の共有を行なった内容を有機的に連携させ、中国・日本・ロシアおよび東欧・西欧の「乳房」表象を比較考察する。

平成 27 年度に、出版社の担当編集者を交えた出版計画打ち合わせを行っており、平成 28 年度内に原稿を整え、平成 29 年度の刊行をめざす。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 27 件)

武田雅哉、変貌する連環画の顔 それはいかにして鍛えられていったか、連環画研究、査読無、5号、2016、98-116  
Go Koshino、Sharing Writers for a Small Nation: Belarusian-Jewish-Russian Writer Grigory Reles、Slavic Eurasian Studies、査読無、vol.30、2016、117-130  
濱田麻矢、とけない謎：沈從文『蕭蕭』における女學生表象、東方學、査読有、131号、2016、961-978  
向後恵里子、英雄の古層一日露戦争における武士と兵士のアナロジー、幕末・明治-移行期の思想と文化、査読無、2016、頁数未定（掲載確定）  
向後恵里子、目撃される英雄—近代の戦争における従軍者の語り、観戦者のまなざし、軍記と語り物、査読無、52巻、2016、頁数未定（掲載確定）  
加部勇一郎、アニメのような、マンガのような 戴鉄郎氏のマンガ『黒猫警長』について、連環画研究、査読無、5号、2016、84-97  
武田雅哉、みんな連環画が悪いのさ—少年は連環画を読んで峨眉山をめざす……、連環画研究、査読無、4号、2015、157-182  
濱田麻矢、北京で語られるアメリカ像—宗璞の1949年、イーユン・リーの1989年、中国21、査読無、43号、2015、207-222  
田村容子、1915年北京の坤劇と劇評家辻聴花、梅蘭芳と京劇の伝播（上・下）第五屆京劇学国際学術研討会論文集、査読有、下巻、2015、961-978  
田村容子、畏に堕ちた彼女 連環画のなかの「性」、連環画研究、査読無、4号、2015、118-138  
加部勇一郎、流浪する少年 国民的キャラクター“三毛”を読む、連環画研究、査読無、4号、2015、66-84  
加部勇一郎、アメと包み紙、連環画研究、査読無、4号、2015、139-156  
向後恵里子、露助の表象—一日露戦争期における敵としてのロシア兵イメージをめぐる、明星大学研究紀要：人文学部日本文化学科、査読無、23号、2015、51-60  
武田雅哉、石を金に変えてはいけなわけ、學士會会報、査読無、906号、2014、51-55  
武田雅哉、見せられる怪談 絵図貼説のある近代中国、文学、査読無、2014年7/8月号、2014、143-162  
武田雅哉、ないとエッセー 仙人伝—中国のヘンテコなはなしに学ぶ、ラジオ深夜便、査読無、172号、2014、62-73  
武田雅哉、よい熊さん、わるい熊さん 中華人民共和国の連環画・ポスター・映画に見えるロシア・ソ連イメージ、ユーラシア地域大国の文化表象、査読無、シリーズ・ユーラシア地域大国論6巻、2014、128-153  
武田雅哉、上吐下瀉 あるいは痰壺と

- 馬桶のある風景 衛生知識宣伝連環画に迷いたい、(小人書林迷走録5) 連環画研究、査読無、3号、2014、120-137  
武田雅哉、年画縮様 について(資料紹介) 連環画研究、査読無、3号、2014、138-156  
加部勇一郎、内なる小さきもの 自らの「童年」を描いた作品を中心に、連環画研究、査読無、3号、2014、74-91  
⑲ 加部勇一郎、縛りたい男 清末の『鏡花縁』続書二種を読む、野草、査読有、94号、2014、1-20  
⑳ 加部勇一郎、音韻遊戯 『鏡花縁』と『七嬉』を中心に、饜饠、査読無、22号、2014、60-83  
㉑ 田村容子、小説から連環画へ—王汝石「新結識的夥伴」とその連環画作品について、野草、査読有、93号、2014、22-51  
㉒ 田村容子、革命叙事と女性兵士 中国のプロパガンダ芸術における戦闘する女性像、地域研究、査読有、14巻2号、2014、92-111  
㉓ 田村容子、栄誉と秘密 「女工連環画」にみる内面の描写、連環画研究、査読無、3号、2014、55-73  
㉔ 武田雅哉、『西洋記』航海日誌(2) 饜饠、査読無、21号、2013、70-95  
㉕ 濱田麻矢、遙かなユートピア 王安憶「弟兄們」におけるレズビアン連続体、現代中国、査読有、87号、2013、33-45

[学会発表](計 34 件)

- 加部勇一郎、戴鉄郎のマンガ『黒猫警長』について、中国児童雑誌研究会、2016.3.4、首都大学東京(東京都八王子市)  
Go Koshino、A Subverting Perception of Tuteishiya (Local People) in Contemporary Belarusian Literature、Hokkaido University - Ghent University Joint Conference “Connecting Japan and Belgium”(国際学会) 2016.2.29、ゲント大学(ベルギー)  
向後恵里子、黒い膚の幻想 日本近代の黒人 イメージをめぐる、サントリー文化財団研究助成プロジェクト第5回国際シンポジウム「東アジアにおける大衆的図像の視覚文化論」、2015.12.26、同志社大学(京都府京都市)  
Go Koshino、Albums and Their Handwritten Novels as Soviet “School Folklore” Material、The Joint Symposium by IREES and SRC: “Russian Culture: Daily Life and Festivity”(国際学会) 2015.12.19、ソウル国立大学(韓国)  
越野剛、ベラルーシの中のポーランド 作家ヤン・バルシュチェフスキを中心に、フォーラム・ポーランド会議「ポーランドとその隣人たち」第2回(招待講演) 2015.12.12、青山学院アスタジオホール

(東京都渋谷区)

Go Koshino, Territorial Perception of Tuteishiya (Local People) in Contemporary Belarusian Literature, International Conference "Redefining Eurasian Territories: Governance, Perceptions, and Identities" (国際学会) 2015.10.31、韓国外国語大学(韓国)

武田雅哉、乳房の図像と記憶～中国・ロシア・日本の表象比較研究」からの中間報告、乳房文化研究会・定例研究会「アジアにおける乳房観 Part 3～中国人女性の身体意識と文化・ファッション～」(招待講演) 2015.10.24、株式会社ワコール京都本社(京都府京都市)

田村容子、男旦(おんながた)が脱ぐとき～中国演劇における乳房の表現、乳房文化研究会・定例研究会「アジアにおける乳房観 Part 3～中国人女性の身体意識と文化・ファッション～」(招待講演) 2015.10.24、株式会社ワコール京都本社(京都府京都市)

Go Koshino, The Island of Sakhalin-Karafuto in Russian and Japanese Literature during the Interwar Period, アジア学会(AAS)西部大会(国際学会) 2015.10.9、ユタ大学(アメリカ)

向後恵里子、明治美術研究をひらく いまいちど近代を考えるために、明治美術学会シンポジウム「明治美術研究の可能性」, 2015.9.26、神奈川県立歴史博物館(神奈川県横浜市)

濱田麻矢、Unsolved Mystery: Images of Female Students in Xiaoxiao, International Symposium SHEN CONGWEN AND MODERN CHINA(国際学会) 2015.9.5、ハーバード大学(アメリカ)

向後恵里子、目撃される英雄:近代の戦争における従軍者の語り、観戦者のまなざし、軍記・語り物研究会、2015.8.24、東洋大学(東京都文京区)

武田雅哉、中国のマンガ:連環画の研究最前線、大学図書館問題研究会・第46回全国大会(招待講演) 2015.8.23、北海道大学学術交流会館(北海道札幌市)

Go Koshino, The Image of German Soldiers and of Belarusian Collaborators in Belarusian-Soviet War Films, 国際中東欧学会(ICCEES)(国際学会) 2015.8.4、神田外語大学(千葉県千葉市)

加部勇一郎、『児童時代』における異国表象 1966年までを中心に、中国児童雑誌研究会、2015.8.1、首都大学東京(東京都八王子市)

濱田麻矢、不能做到的越境—沈從文《蕭蕭》中的女學生情結、旅行的文本、影像与媒介:中国文学与比較文学国際学会双年会(国際学会) 2015.6.19、復旦大学

(中国)

武田雅哉、連環画は如何に使われたか 連環画の顔を読む、「知られざる中国 連環画～これも「マンガ」?～」展、学術シンポジウム「連環画、そのさまざまな顔～他ジャンルとの接点をさぐる～」(招待講演) 2015.5.30、京都国際マンガミュージアム(京都府京都市)

加部勇一郎、子ども文化と漫画・連環画「黒猫警長」シリーズを例にして、「知られざる中国 連環画～これも「マンガ」?～」展、学術シンポジウム「連環画、そのさまざまな顔～他ジャンルとの接点をさぐる～」(招待講演) 2015.5.30、京都国際マンガミュージアム(京都府京都市)

加部勇一郎、雑誌『児童時代』における張樂平の活動について、中国児童雑誌研究会、2015.3.5、首都大学東京(東京都八王子市)

加部勇一郎、賀友直『賀友直画自己』について、自伝・回憶録を読む会、2015.3.4、関西学院大学(大阪府大阪市)

⑲ 向後恵里子、英雄の古層 日露戦争における武士と兵士のイメージ、第9回幕末明治研究会、2014.12.20、明星大学(東京都日野市)

⑳ 濱田麻矢、浪漫城市杭州 以張愛玲小説为中心、シンポジウム韓中文学の都市表象(国際学会) 2014.12.12、東亜大学校(韓国)

㉑ 濱田麻矢、少女の視点 現代中国における権力とことば、日本中国学会、2014.10.11、大谷大学(京都府京都市)

㉒ 越野剛、ペラルーシ、存在しなかった国の文学史、スラブ・ユーラシア研究センター公開講演会、2014.10.8、北海道大学(北海道札幌市)

㉓ Go Koshino, Belarusian Literature Written in Russian: a Case of Belarusian Jewish Writer Grigory Reles, International Symposium "Images of East European Literature: The Variable and Invariable in the Past and Present," (国際学会) 2014.9.28、立教大学(東京都豊島区)

㉔ 田村容子、中国の戦争映画における「鬼子」と「奶子」、研究会「戦争と社会主義のメモリースケープ」, 2014.9.16、北海道大学(北海道札幌市)

㉕ 濱田麻矢、Narrating the events of the wars: A focus on Lung Yingtai's Big River, Big Sea, The 14th international conference of EAJS (国際学会) 2014.8.29、リュブリャナ大学(スロベニア)

㉖ 加部勇一郎、三毛の大冒険、共産圏アニメ SF 研究会、2014.8.23、北海道大学(北海道札幌市)

㉗ 武田雅哉、仙人伝～中国のヘンテコなは

- なしに学ぶ 1~4、NHK ラジオ深夜便、  
2014.8.11~14
- ③① 加部勇一郎、新中国児童雑誌の概要とその研究状況、中国児童雑誌研究会、2014.8.2、首都大学東京（東京都八王子市）
- ③① 濱田麻矢、藍衣少女 張恨水、張愛玲筆下の女學生想像、今古齊觀：中國文學中的古典與現代國際學術研討會、2014.5.27、香港中文大学（香港）
- ③② 武田雅哉、門外乳談 素人の おっばい 談義、中国文芸研究会、2013.8.28、北海道大学（北海道札幌市）
- ③③ 加部勇一郎、“黒猫警長”の図像学、中国文芸研究会、2013.8.27、北海道大学（北海道札幌市）
- ③④ 田村容子、王汝石『新結識的夥伴』とその連環画作品について、中国文芸研究会、2013.7.28、関西学院大学（大阪府大阪市）

〔図書〕(計 9 件)

- 越野剛他、京都大学学術出版会、歴史としてのレジリエンス：戦争・独立・災害、2016、368 (281-300)
- 武田雅哉他、名古屋大学出版会、驚異の文化史 中東とヨーロッパを中心に、2015、528 (337-346)
- 濱田麻矢他、勉誠出版社、漂泊の叙事 一九四〇年代東アジアにおける分裂と接触、2015、561
- 越野剛他、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター、ロシア SF の歴史と展望 (スラブ・ユーラシア研究報告集 No.7)、2015、127
- 武田雅哉他、平凡社、HUMAN、2014、152(69-73)
- 武田雅哉他、淡交社、乳房の文化論、2014、328(67-92)
- 濱田麻矢他、臨川出版、高田時雄教授退職記念東方學研究論集、2014、902 (197-209)
- Go Koshino 他、Routledge、Eurasia's Regional Powers Compared: China, India, Russia、2014、243 (205-221)
- 越野剛他、青土社、ノーベル文学賞にもっとも近い作家たち、2014、247 (30-37)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

武田 雅哉 (TAKEDA, Masaya)  
北海道大学・大学院文学研究科・教授  
研究者番号：40216908

(2) 研究分担者

濱田 麻矢 (HAMADA, Maya)  
神戸大学・大学院人文学研究科・准教授  
研究者番号：90293951

越野 剛 (KOSHINO, Go)  
北海道大学・スラブ・ユーラシア研究センター・准教授  
研究者番号：90513242

加部 勇一郎 (KABE, Yuichiro)  
北海道大学・大学院文学研究科・専門研究員  
研究者番号：30553044

田村 容子 (TAMURA, Yoko)  
福井大学・教育地域科学部・准教授  
研究者番号：10434359

向後 恵里子 (KOGO, Eriko)  
明星大学・人文学部・准教授  
研究者番号：80454015

(3) 研究協力者

藤井 得弘 (FUJII, Tokuhiro)